

ユニット受講マニュアル【学生用】

* 講義については、必ず各自のパソコンを、**LANケーブルを使用して**eYUMEにアクセスした上で受講してください(無線LAN, wifiは使用しないでください)

* 実習, 演習, テュートリアルについては、各ユニット長, 担当教員の指示に従ってください

* eYUMEは、学生の皆さんの効率のよい学修(予習, 復習)を助けるツールです

The screenshot shows the homepage of Yamaguchi University Faculty of Medicine. The header includes the university logo and navigation links. The main content area is divided into several sections: '総合案内' (General Information), 'お知らせ' (News), '募集案内' (Recruitment), and a footer with various partner organizations. A red box highlights the 'eYUME' link in the footer, with a red arrow pointing to it from a red-bordered box at the bottom of the page.

1. 医学部のトップページから、“eYUME”をクリックしてください。

【事前準備】

2. 山口大学に登録しているID, パスワードを入力し, ログインしてください。

3. ユニットを受講する前に, ユニットの情報を確認してください。

カリキュラム
Curriculum

基盤医学系科目

コース名	コース 責任者	ユニット名(ユニットID)	コマ 数	学年	ユニット 責任者	シラバス 責任者	講座名	旧講座名
医学専門基礎	白澤文 吾	ドイツ語入門	16	1	DOBRA (代 表)			
		フランス語入門	16	1	BEAUSIR JEAN CLAUDE			
		中国語入門	16	1	何曉毅			
		ハンガール入門	16	1	朴賢珠			
		医療環境論	8	3	白澤文吾		医学教育センター	
プロフェッ ショナル イニシアチブ	白澤文 吾	医学入門1 (040001)	16	1	白澤文吾	桂春作	医学教育センター	
		医学入門2 (040002)	16	1	白澤文吾	桂春作	医学教育センター	
		医療人類学	8	1	星野晋	星野晋		
		行動科学	8	1	崎本裕也	崎本裕也	神経生理学	2生理
		医学史	8	1	白澤文吾	久永拓郎	医学教育センター	
		医学英語1a	8	2	浅井義之		システムバイオインフォマティクス 衛生	
		医学英語1b	8	3	浅井義之		システムバイオインフォマティクス 衛生	
		医学英語2	42	4・ 5	石原秀行		脳神経外科学	脳神経外科
		医療概論・倫理序説 (040032)	16	2	白澤文吾	久永拓郎	医学教育学	医療環境
		医療安全学 (040089)	8	4	高瀬泉	姫宮彩子	法医学	法医
医療安全学ユートリア ル (040088)	16	4	高瀬泉	姫宮彩子	法医学	法医		

(例) “医療概論・倫理序説”について説明します。

ユニット概要

Unit

コース プロフェッショナリズム

ユニット 医療概論・倫理序説

目標

1. 主題

1. 医学・医療の倫理問題全般を理解する。
2. 医学・医療の各領域の倫理問題に対する現在の考え方や解決のあり方について理解する。
3. 医療概論全般について理解する。

2. 到達目標

1. 医療倫理の歴史的な流れを概説できる。
2. 臨床倫理の歴史的な流れを概説できる。
3. 患者の基本的権利を概説できる。
4. 患者の自己決定権を概説できる。
5. 臨床諸領域における代表的な倫理問題を概説できる。
6. 倫理問題に対する解決法を4分割表を用いて概説できる。
7. キャリア形成のあり方について概説できる。

3. 担当教員の実務経験

臨床医・研究医として、病院勤務歴20年以上の経験を有する教員達を中心に担当している。

2. テキスト

必要度	書名	著者・監修者・訳者	出版社	出版年	本体価格
2	マンガで学ぶ生命倫理	児玉聡	化学同人	2013	1000
2	臨床倫理入門	日本臨床倫理学会	へるず出版	2017	3000
3	医学生のための生命倫理	盛永審一郎	丸善出版	2012	2800

- 1 必携（授業に必ず持参するもの）
- 2 推奨（学習する際に読むことを強く勧めるもの）
- 3 参考（参考書として適切なもの）

3. 教育方法等の特記事項

授業時の最後の10分間程度を使い、学んだことあるいは担当者の提出する課題についての小レポート提出を求めることがある。

評価方法

ユニット最終日に、ユニット全内容についての筆記試験を行う。ユニット進行中にも適宜小テストやレポートが課されることがある。成績評価は、これらの試験やレポート、授業への出席状況や参加態度を総合的に判断する。

注意点（再試等）

1回のみ行う。

4. 事前に、“主題”，“到達目標”で、当ユニットで何を身に付けるのかを確認し，“テキスト”，“教育方法”，“評価方法”等を把握した上で効率よく学修を進めてください。“到達目標”については、ユニット終了毎に自己評価を行います。

【授業当日】

Home > カリキュラム：時間割

時間割
timetable

2年生 2023年 01月 検索

前の月△ 【2年生】 2023年 1月 次の月△

5. “時間割”をクリックして、受講する授業を選択してください。

2	月	冬季休業			
3	火	冬季休業			
4	水	冬季休業			
5	木	環境・予防医学(1)	環境・予防医学(2)	病理組織実習1(1,2)	(選択)open science club 1
6	金	環境・予防医学(3)	環境・予防医学(4)	病理組織実習1(3,4)	(選択)open science club 1
7	土				
8	日				
9	月	成人の日			
10	火	環境・予防医学(5)	医療概論・倫理序説(1)	病理組織実習1(5,6)	(選択)open science club 1
11	水	環境・予防医学(6)	医療概論・倫理序説(2)	病理組織実習1(7,8)	(選択)open science club 1
12	木	環境・予防医学(7)	環境・予防医学(8)	病理組織実習1(9,10)	(選択)open science club 1
13	金	環境・予防医学(9)	医療概論・倫理序説(3)	医療概論・倫理序説(4)	(選択)open science club 1 (選択)open science club 1
14	土	大学入学共通テスト(吉田・常盤キャンパス)			
15	日	大学入学共通テスト(吉田・常盤キャンパス)			
16	月	医療概論・倫理序説(5)	医療概論・倫理序説(6)	環境・予防医学(10)	環境・予防医学(11) 環境・予防医学(12)
17	火	環境・予防医学(13)	環境・予防医学(14)	医療概論・倫理序説(7)	医療概論・倫理序説(8) (選択)open science club 1

(例) 2年生の“医療概論・倫理序説(7)”について説明します。

授業インデックス

Teaching index

コース プロフェッショナリズム

ユニット 医療概論・倫理序説

授業内容 感染症と倫理(7)

授業ID k0400321600

ユニット概要

前回の授業

次回の授業

授業内容詳細

担当者	久永拓郎	
授業日時	2023年1月17日(火) 5・6時限 第1講義室	
授業のねらい	1. 感染症医療における倫理問題を挙げるができる。 2. 主な病原体と疾患、感染経路について説明できる。 3. 感染症法に基づく分類と届出、患者隔離・制限等について説明できる。 4. 感染症に対する行政政策について説明できる。 5. 標準予防策と隔離予防策について説明できる。 6. 代表的な感染症への対策について説明できる。 7. 感染症患者のプライバシーに配慮ができる。 8. 感染症患者の診療における倫理的配慮ができる。	
キーワード	日本語	英語
	感染症	infectious disease
	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(感染症法)	Act on the Prevention of Infectious Diseases and Medical Care for Patients with Infectious Diseases
	標準予防策	standard precautions
	スティグマ	stigma
5つの正当化の条件	five justificatory condition	
準備学修に必要な学修時間の目安	前回の医療倫理を復習しておいて下さい。(30分)	

学修目標(H28コアカリ等対応)

▲コアカリ番号を照る

- A-1-1-1-1 ①医学・医療の歴史的な流れとその意味を概説できる。
- A-1-1-1-2 ②臨床倫理や生と死に関わる倫理的問題を概説できる。
- A-1-1-1-3 ③ヒポクラテスの誓い、ジュネーブ宣言、医師倫理規範について説明できる。
- A-3-1-1-8 ⑧患者の高齢や不安感に配慮しながら、就学・就業・生活に必要な支援を行える。
- A-4-2-1-6 ⑥患者のプライバシーに配慮できる。
- A-4-2-1-7 ⑦患者情報の守秘義務と患者等への情報提供の重要性について説明できる。
- A-6-3-1-2 ②標準予防策(standard precautions)の必要性について説明できる。
- A-6-3-1-3 ③患者隔離の必要な場合を説明できる。
- B-4-1-1-2 ②病気・健康・医療・死をめぐる文化的な多様性を説明できる。
- B-4-1-1-4 ④人々の暮らしの現場において病気・健康がどのようにとらえられているかを説明できる。
- B-4-1-1-14 ⑭具体的な臨床事例に文化・社会的課題を昇りだすことができる。
- E-2-4-5-1 ①標準予防策(standard precautions)、感染経路別予防策(飛沫感染予防策、接触感染予防策や空気感染予防策等)が必要となる病原微生物を説明できる。
- E-2-4-5-2 ②患者から医療従事者への病原微生物曝露を防ぐための個人防護具、予防接種等を概説できる。

▲コアカリ番号を照る

関連授業

現在登録がありません。

8. “授業内容詳細”に、授業で使用する資料を掲載しているものもあります。

7. “授業のねらい”、“キーワード”、“準備学修に必要な学修時間の目安”を確認し、効率よく学修を進めてください。

6. 授業開始前に“学修目標”を開き、当授業で身に付けるべき能力を確認しておいてください。
“学修目標”については、講義終了毎に自己評価を行います。

授業内容の詳細

コース プロフェッショナリズム

ユニット 医療概論・倫理序説


授業内容 感染症と倫理(7)

授業ID k0400321600

担当者	久永拓郎
授業日時	2023年1月17日(火) 5・6時限 第1講義室
授業概要	

添付ファイル

ドキュメント

アイコン	ファイル
	医療概論・倫理2021年度スライド(配布用)_.pdf (723.18KB)

9. ファイルをクリックし、学修に役立ててください。

閉じる